

## 株式会社トラスクエタが実施した調査により、6割以上の働く人が確認作業に多くの時間を割いていることが判明しました。

新たな業務効率化に向けた取り組みの必要性を示唆する調査結果を発表。

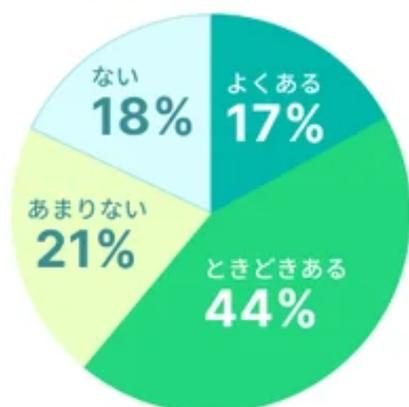
株式会社トラスクエタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：高橋 聡）は、働く人を対象に「確認作業の実態」に関する調査を実施しました。

その結果、6割以上が確認作業に時間を取られていると感じていることが明らかになりました。日常業務における“見えにくい負担”の一つとして、確認作業の実態が浮き彫りになっています。

### ■ 働く人の約6割が「確認作業に時間を取られている」

TRUSQUETTA

#### Q1 内容確認に「時間が取られている」と感じることはありますか？



確認に時間がとられてしまっていると  
感じている

61%

調査の結果、「確認作業に時間が取られている」と感じている人は、

よくある：17%

ときどきある：44%

合計で61%にのぼりました。

多くの現場で、確認作業が日常的な負担となっていることが分かります。

## ■ 約7割がダブルチェックを実施

TRUSQUETTA

**Q2** ミス防止のために、ダブルチェック（複数人確認）を行うことはありますか？



合計72%が複数人確認を実施

**72%**

ミス防止のためのダブルチェックについては、

ほぼ毎回：26%

ときどき：46%

合計72%が複数人確認を実施

確認作業が「個人の業務」ではなく  
組織的なコストになっていることが見て取れます。

## ■ 確認作業の最大の課題は「時間」と「不安」

TRUSQUETTA

**Q3** 確認作業で困ることは何ですか？（複数選択可）



「時間がかかる」だけでなく  
“ミスへの不安”が業務を  
重くしていることが分かります。

確認作業で困ることとして最も多かったのは

チェック漏れが不安：49%

時間がかかる：48%

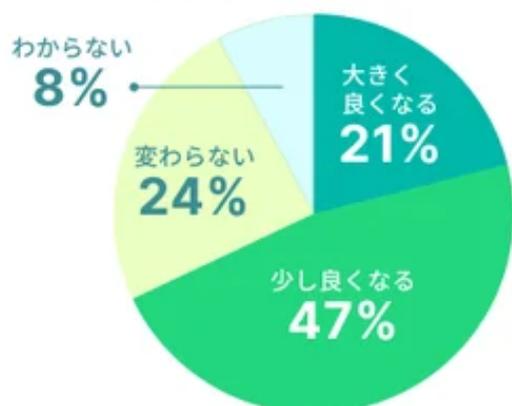
でした。

「時間がかかる」だけでなく  
“ミスへの不安”が業務を重くしていることが分かります。

## ■ 約7割が「負担軽減で働きやすさが改善」

TRUSQUETTA

### Q4 確認作業の負担が減ると、働きやすさはどう変わるとおもいますか？



働きやすさの改善を期待

68%

確認作業の負担が減ることで

大きく良くなる：21%

少し良くなる：47%

合計68%が働きやすさの改善を期待

## 課題の整理

業務時間を圧迫している



ダブルチェックにより  
工数が増えている



ミスへの不安が  
常に存在する



これらの結果から、確認作業の課題は大きく3つに整理できます。

1. 業務時間を圧迫している
2. ダブルチェックにより工数が増えている
3. ミスへの不安が常に存在する

つまり、確認作業は「見えにくいコスト」になっている業務と言えます。

## 解決の方向性

こうした課題に対しては、チェックの効率化・判断基準の統一・ナレッジの共有といった取り組みが重要になります。

トラスクエタが提供する「TRUSQUETTA」は、広告表現のチェックを効率化するツールです。

AIと独自データベースを活用し、確認作業の負担軽減と業務効率化を支援します。

### 調査概要

調査期間：2026年3月18日

調査対象：25歳～59歳の就業者

サンプル数：100名

調査方法：インターネット調査

本リリースや、サービスに関しては以下よりお問い合わせください。

<https://trusquetta.net/contact/>

株式会社トラスクエタ

E-MAIL：marketing@trusquetta.co.jp

TEL：03-5937-1709

<会社概要>

- ・会社名：株式会社トラスクエタ
- ・代表者：代表取締役CEO 高橋 聡
- ・設立：2010年10月
- ・所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目15-7 AMBRE 7F

<事業内容>

AIチェックツール「TRUSQUETTA」：<https://trusquetta.net/>

---

株式会社トラスクエタのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/54524](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/54524)